

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

さて、本校を卒業し、皆さんは本当の意味で、自らの人生を自らの力で切り開いていかななくてはなりません。これからの時代は、変化が激しく、予測の難しい局面が次々と訪れることでしょう。そのような社会の中で、皆さんが自分自身を見失うことなく歩み続けるためには、何が必要なのか。

本日は、私から最後のメッセージをお伝えいたします。

世界中で経済や産業の構造が大きく転換している今、目の前の与えられた課題を表面的に解決すればよいという姿勢では、結局何の成長もできずに衰退するばかりです。

次代を担う皆さんには、

「自ら問題を発見する意欲」

「常識や前提にとらわれず、ゼロからイチを生み出す力」

「探究心を手放さず、一つのことを深く掘り下げる姿勢」

といった、物事の根本的な原因や本質を変革する意識と行動が求められています。

すなわち、「何を深く学び、どのように体得してきたのか」が問われる時代となるのです。皆さんは、朝西で培った学びを生かし、周囲の人々と誠実にコミュニケーションを取りながら、自らの意見やアイデアを、世のため、人のために発信して行ってください。

その際には、正確な現状把握が不可欠です。AIなどの新しい技術も積極的に活用してほしいと思います。現状を把握したならば、課題を見だし、解決の道筋を考える。批判や悲観にとどまるのではなく、「どうすればより良くなるか」を常に問い続けてください。日頃から「なぜ」「どうして」と自らに問いかける姿勢を大切に、自信をもって現状を切り拓く人へと成長して行ってほしいと願っています。

もう一つ、旅立つ皆さんにとって、真に力となるのは、知識や技術だけではありません。

目の前の人の声に静かに耳を傾け、その思いに寄り添う姿勢こそが、皆さんの歩みを支える確かな礎となります。困難に直面する人にそっと手を差し伸べること。自分とは異なる価値観を持つ人を理解しようと努めること。その一つひとつの行いが、周囲に温かなつながりを生み、社会をより良い方向へと導いていきます。

また、皆さんが育ったこの地域には、皆さんを見守り、支えてくださった多くの方々があります。登校する皆さんに声をかけてくださった近隣の方々、学校行事や部活動を支えてくださった地域の皆さん、そして家族。その温かなまなざしが、皆さんを今日まで導いてくれました。

どうか、これからどこへ進んでも、この地域で生まれた優しさと誠実さを胸に刻み続けてください。そして、学んだこと、経験したことを、いつの日かこの地域へ、あるいは新たに出会う場所へ還していく。その積み重ねが、社会をより豊かにし、未来を形づくっていく力となります。

皆さん一人ひとりの力は、決して小さなものではありません。

他者の心に寄り添うその姿勢こそが、地域を支え、社会を動かす原動力となるのです。どうか、自信をもって歩みを進めてください。

新しい時代において、地域を支え、地域に貢献する存在となるのは、朝西の卒業生であってほしい。私は常にそのことを願い、皆さんの未来に大きな期待を寄せています。

さあ、卒業生の皆さん、校歌の一番には、

「雲はとぶとぶ 武蔵野の空を

夢をのせて 地平のかなたへ

我等若い翼 羽ばたく日まで」とあります。

今こそ旅立ちのときです。皆さんの前途には光輝く未来が開けています。朝西の卒業生として自信と誇りをもってしっかりと歩いて行ってください。皆さん一人一人の人生が心身ともに健康で希望に満ちた豊かなものとなりますようお祈りして式辞といたします。

令和8年3月12日

埼玉県立朝霞西高等学校長 佐藤 成美